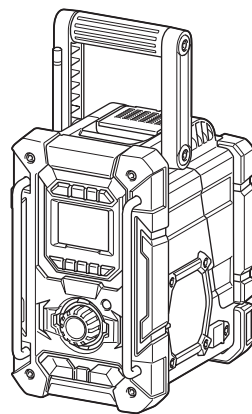




取扱説明書

充電機能付ラジオ

モデル MR300



このたびは充電機能付ラジオをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全に正しくお使いいただくために	6
・ 各部の名称	12
・ 電源について	15
・ バックアップ用乾電池の取り付け方	15
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	16
・ AC アダプターの使い方	17
・ AC アダプターの持ち運び	17
・ バッテリーを充電する	18
・ 電源および充電状況の表示	19
・ 充電時間の目安	20
・ 各操作ボタンについて	22
・ 電源ボタンの入れ方 / 切り方	22
・ 音量の調整	22
・ ラジオ機能	23
・ ラジオ放送を聞く	23
・ 自動選局	23
・ 手動選局	24
・ 放送局を登録して聞く（プリセット選局）	25
・ 登録した放送局を呼び出す	25
・ Bluetooth 機能	26
・ Bluetooth 対応	26
・ Bluetooth 機器とのペアリング	26
・ Bluetooth 機器の切断	27
・ 時計とアラーム機能	28
・ 時間表示の設定	28
・ 時刻の設定	28
・ 年月日の設定	28
・ 年月日表示形式の設定	29
・ ラジオアラームの設定	29
・ ブザーアラームの設定	30
・ アラーム設定の解除	31
・ スヌーズ機能	31
・ おやすみタイマー機能	32
・ ラウドネス機能	32
・ 外部入力について	33
・ 外部入力端子への接続	33
・ 携帯機器の充電	34
・ 保守・点検について	35
・ 本製品のお手入れ	35
・ ご修理の際は	35

主要機能

主要機能		モデル	MR300
周波数帯域			FM : 76 ~ 108 MHz AM : 522 ~ 1,710 kHz
アンテナ			FM : ロッドアンテナ AM : フェライトバーアンテナ
スピーカ			89 mm (8 Ω) × 2 個
入力端子			AUX IN 1、AUX IN 2 (ø3.5 mm)
実用最大出力			10.8 V : 1.2 W × 2 14.4 V : 2.2 W × 2 18 V : 3.5 W × 2
電源			スライド式バッテリー* : DC10.8 V、14.4 V、18 V バックアップ用乾電池: DC3 V (単3 乾電池 2 本) 家庭用電源 : AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプター使用)
USB 電源端子	出力電圧		直流 5.0 V
	出力電流		直流 2.4 A (2 端子合計出力)
	形状		USB A タイプ
Bluetooth	適合規格		Bluetooth Ver5.0
	対応プロファイル		A2DP (SCMS-T 対応) / AVRCP
	オーディオ コーデック		SBC
	通信距離		通信保証距離 : 10 m 通信可能距離 : 30 m (使用環境によって異なる)
	送信出力		Class2
本製品寸法			ハンドルを起こしたとき : 長さ 268 mm × 幅 185 mm × 高さ 427 mm ハンドルを倒したとき : 長さ 268 mm × 幅 185 mm × 高さ 305 mm
質量 (バッテリー除く)			5.9 kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 使用可能なバッテリーについては、4 ページ の「一充電当たりの使用時間」を参照してください。

主要機能

—充電当たりの使用時間※ 1

バッテリーの種類・電圧			使用時間※ 2	
10.8 V	14.4 V	18 V	ラジオ	Bluetooth +USB 充電
	BL1415		約 5.6 時間	約 1.0 時間
		BL1815	約 6.1 時間	約 1.4 時間
	BL1415N		約 5.6 時間	約 1.0 時間
		BL1815N	約 6.1 時間	約 1.4 時間
BL1015			約 6.3 時間	約 0.9 時間
		BL1820B	約 8.2 時間	約 1.8 時間
	BL1430		約 9.4 時間	約 1.7 時間
	BL1430B			
		BL1830	約 11.3 時間	約 2.5 時間
		BL1830B		
BL1040B			約 16.4 時間	約 2.3 時間
	BL1440		約 14.8 時間	約 2.7 時間
		BL1840	約 16.0 時間	約 3.6 時間
	BL1450		約 17.8 時間	約 3.3 時間
		BL1850	約 20.5 時間	約 4.6 時間
		BL1850B		
	BL1460B		約 19.5 時間	約 3.6 時間
		BL1860B	約 24.7 時間	約 5.5 時間

※ 1 使用時間は参考値です。バッテリーの充電状態や充電する携帯機器により異なります。

※ 2 JEITA基準:電子情報技術産業協会基準(スピーカ出力:50 mW + 50 mW時)

主要機能

電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること。
- ・ 本製品に貼ってあるラベルの適合マークおよび認証番号を消すこと。



Bluetooth について

- ・ *Bluetooth* とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- ・ *Bluetooth* は、*Bluetooth SIG* の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ *Bluetooth* 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth* 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本製品はすべての *Bluetooth* 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

安全に正しくお使いいただくために

JPA036-1

- ・ この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷などを負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
注	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意です。

- ・ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

付属の AC アダプターは日本国内専用です。



- ・ 付属の AC アダプターは、交流 100 V (AC100 V) の家庭用電源コンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

マキタが指定した専用の AC アダプター以外は使用しない。



- ・ 改造した AC アダプターを使用しないでください。本製品の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用したり、充電したりしない。



- ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
- ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

内部にもものや水などを入れない。



- ・ 金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐにアンテナを収納する。



- ・ 落雷の原因となります。

AC アダプタープラグや電源プラグをぬれた手や油分などで汚れた手で抜き差ししない。



- ・ 感電の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを本製品から取りはずして放置しない。



- ・ 通電したままの AC アダプタープラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

電源プラグ、コードや AC アダプタープラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、ショート、発火の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…



- ・ 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーをはずし、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。



- ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。



- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。



- ・ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。



- ・ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。



- ・ 液晶画面が破損した場合、液晶（液体）が漏れ出す可能性があります。液晶を吸い込んだり、口に入れたりしないでください。中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

マキタが指定した専用バッテリー以外を使わない。



- ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。



- ・ バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

バッテリーは、火への投入、加熱をしない。



- ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

バッテリーは専用充電器以外では充電しない。



- ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、火災の恐れがあります。

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させない。（USB 電源端子装備モデルのみ）



- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると短絡（ショート）し、発火、発煙の恐れがあります。

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

子供に使用させないでください。使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管する。



- ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
- ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- ・ バッテリーはバッテリー収納カバーをつけて保管してください。（バッテリー収納カバー付きの場合）

子供に充電式製品、充電器およびバッテリーで遊ばせない。



- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

本機を持ち運ぶときは、落とさないようにハンドルを握るなど、しっかり保持する。



- ・ 破損や故障の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを抜かない。



- ・ 感電の恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

不安定な場所に置かない。



- ・ 落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気があたるような場所に置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。



- ・ 露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内など、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使い方をしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液漏れをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。



- ・ 新しい乾電池と1度でも使用した乾電池を一緒に使用しない。
- ・ 金属小物（かぎ、コイン、装飾品、ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れない。
- ・ 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない。
- ・ 分解しない。
- ・ ハンダ付けしない。
- ・ 端子をショート（短絡）させない。
- ・ 種類のちがう乾電池を一緒に使用しない。
- ・ しばらく使わないときは、取り出しておく。
- ・ 乾電池のプラスとマイナスの向きを、表示どおり正しく入れてください。
- ・ もし、液が漏れた場合は、乾電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・ 万一、漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 本機は乾いた布で拭いてください。ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 付属品はマキタ純正品を使用してください。故障の原因となります。



⚠ 注意



- ・ 雷が鳴ったり、長期間使用しない場合には、電源から電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因になります。



- ・ バッテリーを、周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発火、発煙の恐れがあります。



- ・ バッテリーを着脱するときは、バッテリーを落下させないように注意してください。けがの原因になります。



- ・ 落としたり、損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

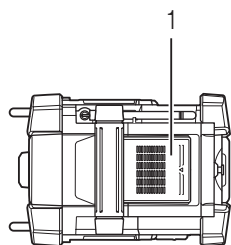
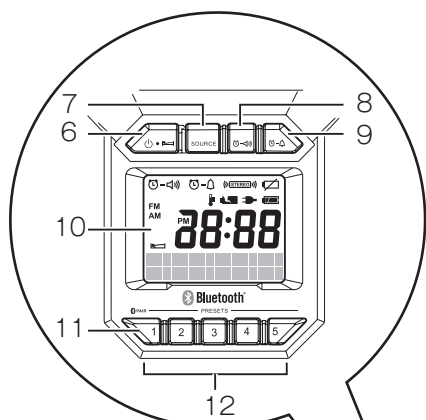


- ・ バッテリーは、電力量が 100Wh を超える場合、危険物に分類されます。輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。

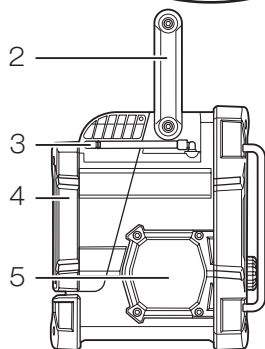


- ・ 充電式製品を高圧電線の近くで使用しないでください。誤動作や故障する恐れがあります。

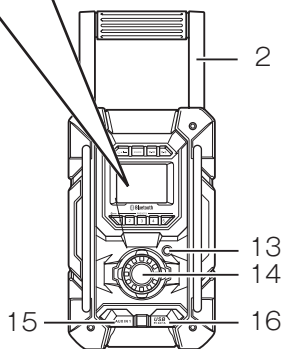
各部の名称



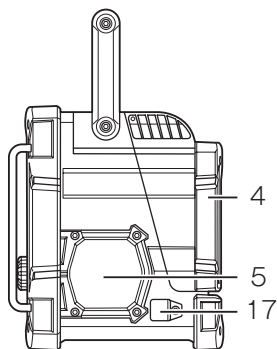
[天面]



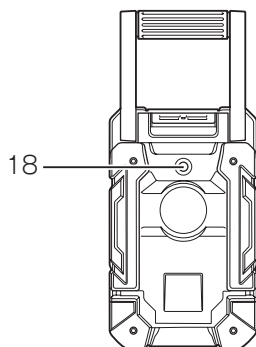
[側面]



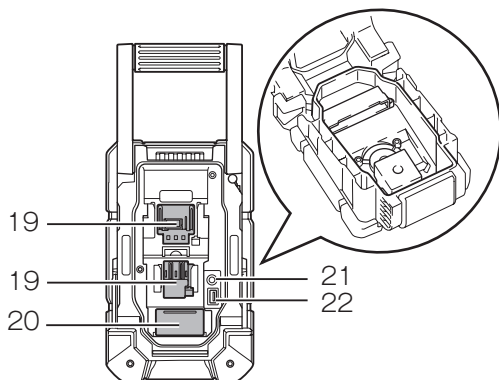
[正面]



[側面]



[背面-バッテリー収納カバー閉口時]



[背面-バッテリー収納カバー開口時]

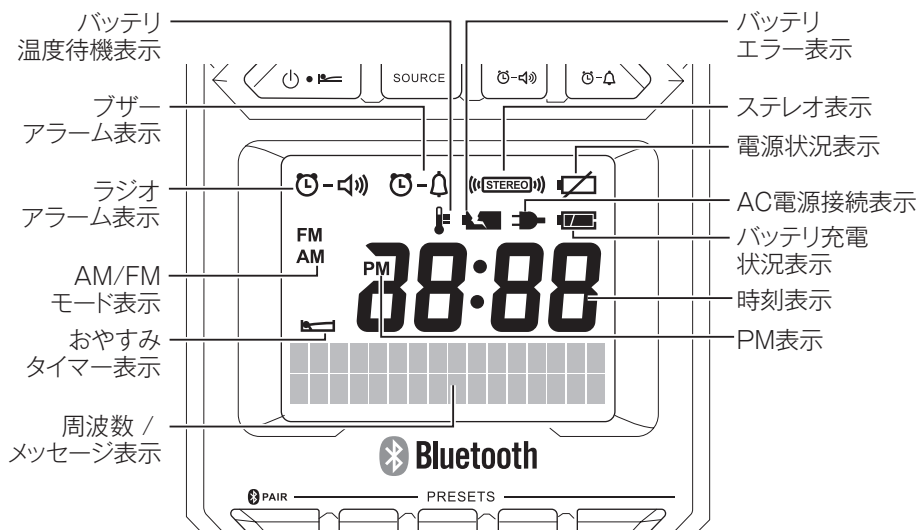
各部の名称

操作部

1. バッテリー収納カバー用ロック
2. ハンドル
3. ロッドアンテナ
4. バッテリー収納カバー
5. スピーカ
6. 電源・おやすみタイマーボタン
7. ソースボタン
8. ラジオアラームボタン
9. ブザーアラームボタン
10. LCD 表示画面
11. *Bluetooth* PAIR ボタン
12. プリセットボタン
13. メニュー / 情報ボタン
14. 音量・選局ダイヤル
15. AUX IN 1 入力端子
16. USB 1 電源出力端子
17. AC アダプタージャック
18. AC アダプターフック
19. バッテリー挿入口
20. バックアップ用乾電池収納部
21. AUX IN 2 入力端子
22. USB 2 電源出力端子

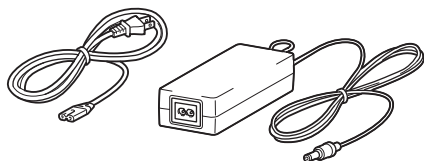
各部の名称

LCD 画面表示部



標準付属品

- ・ AC アダプター (DC24 V 5 A)



- ・ バックアップ用乾電池 単3 × 2本

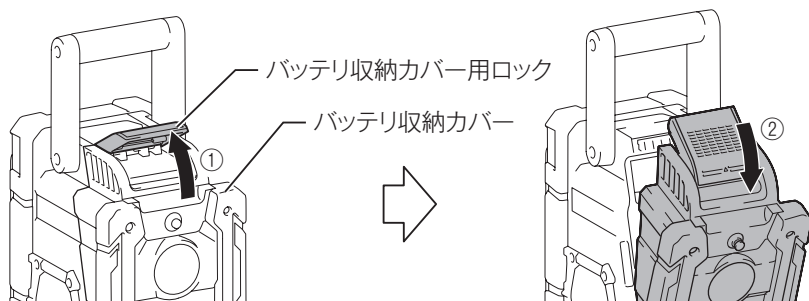
電源について

バックアップ用乾電池の取り付け方

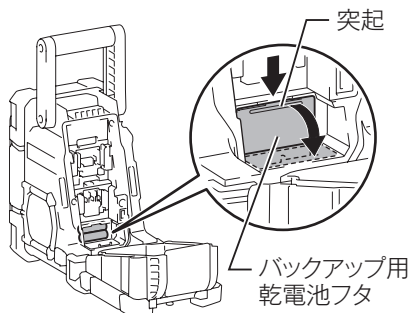
- ・ バッテリーや AC アダプターを抜いたときに、バックアップ用電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。

注

- ・ 画面に“EMPTY”の文字が表示され、 が点滅したら、バックアップ用の乾電池を交換してください。
1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。



2. バックアップ用乾電池フタの突起を下に押し込むようにして手前に開きます。
3. 乾電池のプラス・マイナス方向に注意して取り付け、フタを閉じます。



注

- ・ 乾電池のプラス・マイナス方向を間違えると、故障の原因になります。

電源について

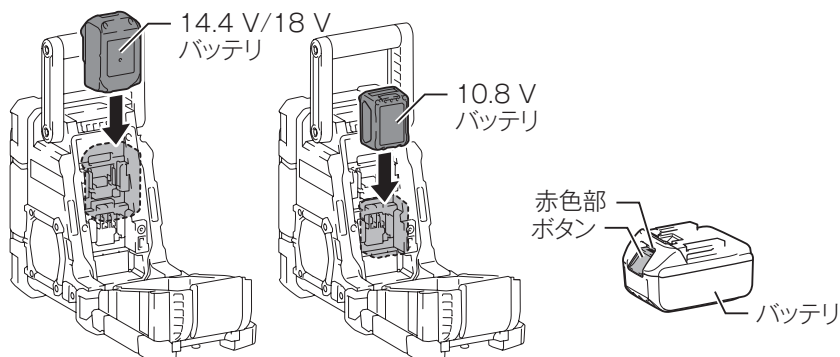
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

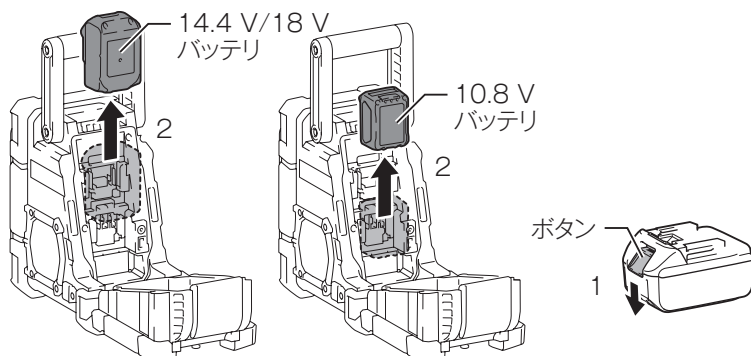
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

1. バッテリー収納カバーを開きます（15 ページ参照）。
2. バッテリーの種類にあった取り付け部に奥まで挿入してください。
この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
3. バッテリー収納カバーを閉じ、ロックをします。



バッテリーを本製品から取りはずすときは、

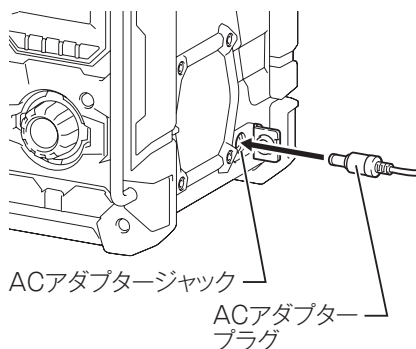
1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
2. スライドさせると取りはずせます。



電源について

AC アダプターの使い方

1. ゴムカバーをめくり、AC アダプタージャックへ AC アダプタープラグをつなぎます。
2. AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにつなぎます。
 - ・ バッテリー電源駆動時に AC アダプターを接続すると、自動的に AC 電源駆動へ切り替わります。
 - ・ バッテリー装着時に、AC アダプターを接続すると、バッテリーは自動的に給電状態から充電モードへと切り替わり、充電を開始します（18 ページ参照）。

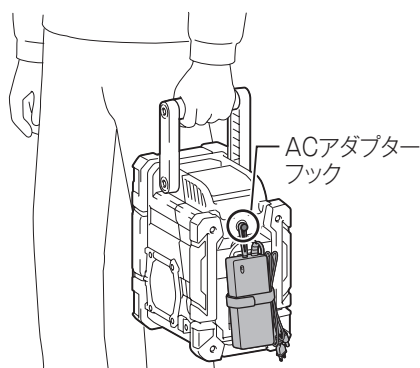


注

- ・ AM 放送受信時には AC アダプターによって雑音などの影響がでることがあります。本製品を AC アダプターより 30 cm 以上離してください。
- ・ 本製品を使用しないときは AC アダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

AC アダプターの持ち運び

- ・ AC アダプターを本製品背面の専用フックへ掛けて持ち運ぶことができます。



注

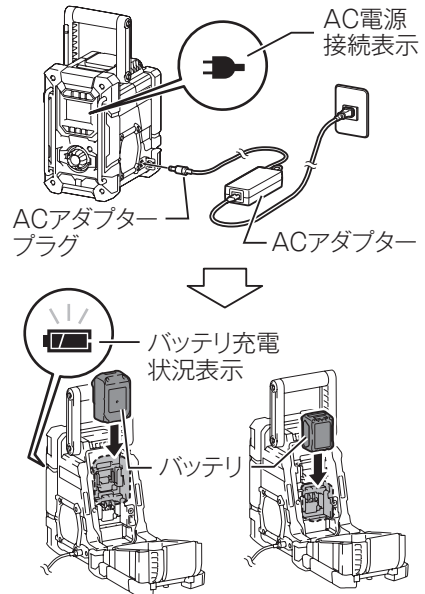
- ・ AC アダプターは、コード類を取りまとめたうえで、結束バンドなどで束ねてください。
- ・ 本製品を持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。
- ・ AC アダプターを落下させないように注意してください。
- ・ ハンドルに手を挟まないように注意してください。

電源について

バッテリーを充電する

AC アダプター接続中にバッテリーを装着すると、充電することができます。

1. 本製品の AC アダプタージャックへ AC アダプタープラグをつなぎます。
2. AC アダプターの電源プラグをコンセントにつなぎます。
 - ・ AC 電源接続表示が画面に表示されます。
3. バッテリーを装着します。
 - ・ バッテリー充電の状況が画面に表示され、数秒後に充電が始まります。



注

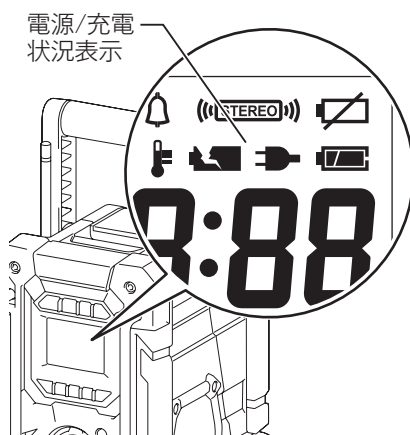
- ・ バッテリー装着時に本製品へ AC アダプターをつなげると、電源供給元が自動的に AC（交流）電源へ切り替わります。同時に装着しているバッテリーの充電を開始します。
- ・ AC アダプター接続時に本製品へバッテリーを装着すると、電源供給元を AC（交流）電源としたまま、装着しているバッテリーの充電を開始します。
- ・ 充電中に AC アダプターを抜くと、数秒間オーディオ・USB 出力をオフにし、自動的にバッテリーからの電源供給に切り替えてから再度オンにしますが、故障ではありません。

電源について

電源および充電状況の表示

電源供給や充電の状況を画面でお知らせします。

-  : バッテリーおよび AC アダプター非装着またはバックアップ電源が不足しています。
-  : AC アダプターが接続されています。
-  : (点滅)
バッテリー容量が残り少なくなっています。
-  : (点滅)
充電中です。
— 残量が 80% 未満
-  : (点滅)
充電中です。
— 残量が 80% 以上
-  : 充電完了。
-  : 充電エラー。バッテリーが損傷しています。
-  : バッテリーの温度が上昇しています。



電源について

充電時間の目安

装着するバッテリーの種類によって必要な充電時間が異なります。以下に示した時間を目安に充電をしてください。

モデル	容量 (Ah)	充電時間
BL1815/BL1415	1.3	約 27 分
BL1815N/BL1415N	1.5	約 27 分
BL1820B	2.0	約 38 分
BL1430B/BL1430	3.0	約 48 分
BL1830B/BL1830	3.0	約 48 分
BL1440	4.0	約 67 分
BL1840	4.0	約 67 分
BL1450	5.0	約 84 分
BL1850B/BL1850	5.0	約 84 分
BL1460B	6.0	約 100 分
BL1860B	6.0	約 100 分
BL1015	1.5	約 31 分
BL1040B	4.0	約 75 分

注

- ・ ラジオの音が大きくなったり小さくなったりしたときやバッテリー容量が残り少ないことを示すマーク  が点滅したら、充電したバッテリーと交換してください。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しない時はバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは、本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

電源について

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 本製品の音量や出力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10 °C ~ 40 °C の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電して保管することをおすすめします。

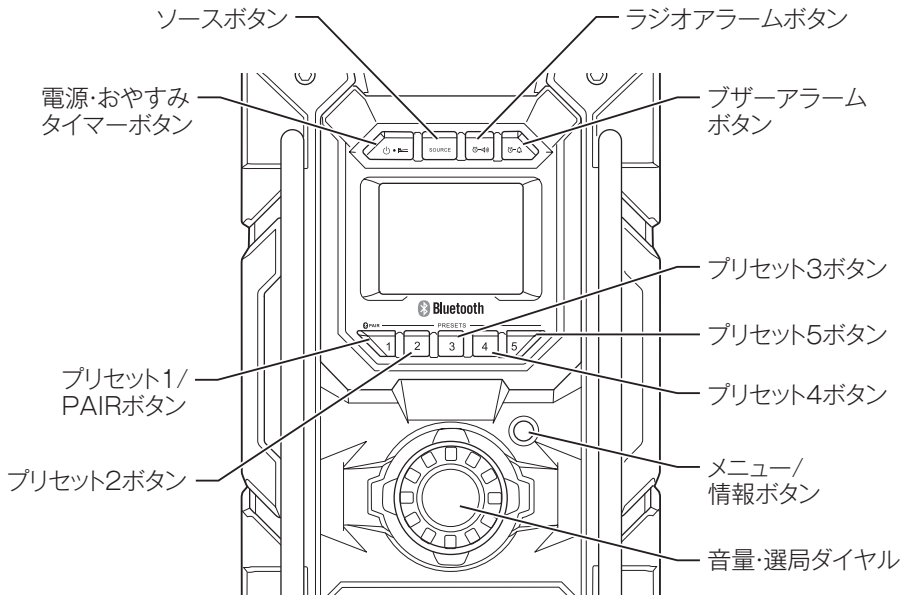
バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

各操作ボタンについて



電源ボタンの入れ方 / 切り方

- 電源・おやすみタイマーボタン  を押すと電源が入り、各モードで動作中に押すと電源が切れます。

音量の調整

- 音量調整モード時は音量のレベルが表示されます。音量・選局ダイヤル  を時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

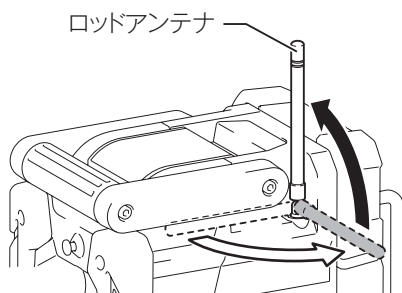
注

- 音量は上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ラジオ機能

● FM 放送を聞く場合

- 図のようにロッドアンテナを 90° 回転させてから立てます。
収納するときには、逆の手順で行います。



注

- ロッドアンテナは使用後、元の位置へ収納してください。
 - 破損の原因になります。

● AM 放送を聞く場合

- 内蔵のフェライトバーアンテナによって受信しますので、アンテナを立てる必要はありません。

ラジオ放送を聞く

- 自動選局、手動選局、登録（プリセット）選局の 3 通りの選局方法があります。

自動選局

- 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
- ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響する機器の近くでは操作しないでください。
- 音量・選局ダイヤル  を長押しすると、周波数の数字が変わり選局が始まります。電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。
- 周波数帯の終わりまできると、最小の周波数から選局が再開します。
- 再度選局を開始する場合は、 を長押しすると選局が再開します。
- ラジオを消す場合は  を押します。同時に表示も消えます。

注

- ステレオ放送を受信した場合は、ステレオマーク (ⒺSTEREOⒺ) が表示されます (FM 放送のみ)。
- 選局中に音量調整する際、音量・選局ダイヤル  を押すと、音量調整モードに切り替わります。

手動選局

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響する機器の近くでは操作しないでください。
3. 音量・選局ダイヤル  を一度押します。画面に “MANUAL TUNE” が表示され、選局モードになります。
4.  を希望する放送局を受信するまで回します。  を回すと次の周波数刻みで変化します。

FM : 50 kHz (0.05 MHz)

AM : 9 kHz

注

- 音量・選局ダイヤル  は音量調整モード時に押すと選局モード (FM・AM 表示が点滅) に、選局モード時に押すと音量モードになります。1 回押すごとに選局モードと音量モードの切替えができます。
 - 選局モード中に操作をしないと、自動的にモードが解除され音量モードに切り替わります。
5.  を回して希望する放送局を受信したら、  を押して確定します。
 6. 音量を調整します。
 7. ラジオを消す場合は  を押します。同時に表示も消えます。

ラジオ機能

放送局を登録して聞く（プリセット選局）

AM 放送、FM 放送は各々、5 局まで登録できます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。

2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。

3. 登録したい放送局を受信します（自動選局、手動選局）。

4. 登録したい放送局の周波数が表示されたら、プリセットボタン （1～5 のどれか）を長押しし（2 秒以上）、登録します。

5. ピツと音がして、選んだプリセットボタンの表示がされます。

例：FM 放送の 77.80MHz をプリセットボタン 3 に登録した場合
⇒ FM 77.80MHz P3

6. ほかの放送局を登録するには操作 1～3 を繰り返します。

注

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

登録した放送局を呼び出す

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。

2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。

3. プリセットボタン （1～5）を押すと、登録した放送局の周波数が表示されます。

Bluetooth 機能

Bluetooth 対応

本製品を Bluetooth 機器と接続して、音楽などをワイヤレスで再生することができます。

Bluetooth 機器とのペアリング

● Bluetooth 機器を登録して再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、Bluetooth モードを選びます。
“READY BLUETOOTH” が表示され、“READY” が点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、ペアリングができるようにします。
4. PAIR ボタン  を押し、1 秒間隔で点滅します。これで本製品をサーチすることができます。
5. Bluetooth 機器のメニューに“MR300”が表示されたら選択します。
古いタイプの携帯電話の場合（BT2.1 より古いバージョンの場合）、PIN コード“0000”を入力する必要がある場合があります。
6. Bluetooth 機器と本製品がペアリングされます。
7. ペアリングが完了すると、“CONNECTED BLUETOOTH”が表示され、その後バックライトが暗くなります。
8. Bluetooth 機器で再生された音楽が本製品のスピーカで聞くことができます。

●登録済みの Bluetooth 機器を再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、Bluetooth モードを選びます。
“READY BLUETOOTH” が表示され、“READY” が 2 秒間隔で点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器のメニューで“MR300”を選択して接続します。機器によっては自動的に接続されます。
4. Bluetooth 機器で再生された音楽が本製品のスピーカで聞くことができます。

注

- 本製品は最大 8 台までの *Bluetooth* 機器を登録できます。最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- 2 つの *Bluetooth* 機器が本製品を同時にサーチする場合、両方の機器に本製品がペアリング可能であると表示されます。
- 一時的に *Bluetooth* 機器が本製品と切断されたとき、ペアリングから設定する必要があります。
- もしお手持ちの *Bluetooth* 機器上に“MR300”が表示されていながら接続ができない場合は、お手持ちの *Bluetooth* 機器のメニューから“MR300”を削除し、ペアリングから設定してください。
- 本製品とペアリングされた機器の有効距離は約 10 m ですが、見通しが良ければ約 30 m まで通信可能です。
- 本製品と *Bluetooth* 機器の間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。

Bluetooth 機器の切断

Bluetooth 機器を切断するためには、PAIR ボタン  を 2 ～ 3 秒押し続けてください。“CONNECTED BLUETOOTH” から“PAIR BLUETOOTH”へ表示が切り替わり、*Bluetooth* 接続がオフになったことを示します。

時計とアラーム機能

時間表示の設定

- ・ 時間はスタンバイモードや再生モード時に表示画面に表示されます。時間表示は 12 時間と 24 時間の設定ができます。アラーム設定時にもその設定が使用されます。
1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
 2. 音量・選局ダイヤル  を回して、画面に “TIME” を表示させてから、 を押します。
 3.  を回して画面に “SET 12/24HOUR” を表示させてから、もう一度  を押します。
 4.  を回して、“12 HOUR” または “24 HOUR” を選択します。
 5.  を押すと確定します。

時刻の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、画面に “TIME” を表示させてから、 を押します。
3.  を回して、“SET TIME” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
4. 時表示が点滅します。  を回して時を合わせてから押すと確定します。
5. 次に、分表示が点滅します。  を回して分を合わせてから押すと確定します。

年月日の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、画面に “TIME” を表示させてから、 を押します。
3.  を回して、“SET DATE” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。

時計とアラーム機能

4. 年表示が点滅します。  を回して年を合わせてから押すと確定します。
5. 次に、月表示が点滅します。  を回して月を合わせてから押すと確定します。
6. 次に、日表示が点滅します。  を回して日を合わせてから押すと確定します。

年月日表示形式の設定

- ・表示を“月・日・年”または“日・月・年”のどちらかに切り替えることができます。
1. メニュー／情報ボタン  を長押しします。
 2. 音量・選局ダイヤル  を回して、画面に“TIME”を表示させてから、 を押します。
 3.  を回して、画面に“DATE FORMAT”を表示します。さらに を押して設定モードにします。
 4. 音量・選局ダイヤル  を回し、“MM/DD/YYYY”または“DD/MM/YYYY”を選択してから  を押します。

ラジオアラームの設定

ラジオアラームを設定すると、設定した時刻にラジオ放送を聞くことができます。

ラジオアラームは電源・おやすみタイマーボタン  を押さなければ、1時間鳴っています。

1. ラジオアラームは電源の「入」「切」にかかわらず設定できます。
2. ラジオアラームボタン  を長押しするとラジオアラームマーク  と時間表示が点滅します（約10秒間）。
3. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
4. 次に分表示が点滅します、同様にして分を確定します。

時計とアラーム機能

5. 次にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが1回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAYS：アラームは平日（月曜日～金曜日）に鳴ります。
WEEKENDS：アラームは週末（土曜日・日曜日）に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。
6. FM・AMを選択します。FMが点滅しているところで、 を回し、FM・AMを確定します。
次に  を回して、“LAST LISTENED” または “PRESET NO.” を選択してから、 を押して確定します。
7. 最後にアラームの音量を設定します。音量は“VOLUME 10”のように表示されますので、 を回しお望みの音量に合わせ、 を押すと確定します。
ラジオアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。

ブザーアラームの設定

ブザーアラームが設定されると、設定した時刻にアラームが鳴り始めます。
このアラーム音は次のサイクルで1時間繰り返します。

(①→②→③→②→③→・・・→③→②→アラーム音停止)

①：設定時刻で音がし始めます。

②：1分間に3種類のアラームで鳴り続けます。

③：1分間停止します。

ブザーアラームが鳴ったら電源・おやすみタイマーボタン  を押してください。

- ブザーアラームは電源の「入」「切」にかかわらず設定できます。
- ブザーアラームボタン  を長押しするとブザーアラームマーク  と時表示が点滅します（約10秒間）。
- 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
- 次に分表示が点滅します、同様にして分を確定します。

時計とアラーム機能

5. 最後にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
- ONCE：アラームが1回鳴ります。
- DAILY：アラームが毎日鳴ります。
- WEEKDAYS：アラームは平日（月曜日～金曜日）に鳴ります。
- WEEKENDS：アラームは週末（土曜日・日曜日）に鳴ります。
- アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。

注

- ・ ブザーアラームの音量は設定できません。
- ・ ブザーアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。
- ・ ラジオアラームおよびブザーアラームは、時刻を設定していない場合使用できません。

アラーム設定の解除

- ・ ラジオアラームボタン  またはブザーアラームボタン  を長押しすれば解除され、画面からラジオアラームマーク  またはブザーアラームマーク  が消えます。

スヌーズ機能

1. アラーム音が鳴っている間に電源・おやすみタイマーボタン  以外のボタンを押すとアラーム音が消えますが、5分後、再びアラーム音が鳴ります（スヌーズ機能）。
このとき、“SNOOZE TIMER TO SPEAKER” が表示されます。
2. スヌーズ機能の設定時間を変えるには、メニュー／情報ボタン  を長押しします。
3. “SNOOZE **” の表示がされるまで音量・選局ダイヤル  を回します。
4.  を押し、スヌーズ機能の時間設定モードに入ります。
5. 時間は5分間隔で20分まで設定できます。 を回すと、SNOOZE 5、10、15、20 と表示されますので、設定する時間表示になったら、 を押して確定します。

時計とアラーム機能

6. アラームが中断している間に、 を押せば、スヌーズ機能が働かない状態にできます。

おやすみタイマー機能

おやすみタイマーを設定すると設定した時間で電源を切ることができます。
おやすみタイマーは、15 分、30 分、45 分、60 分、90 分、120 分の設定ができます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を長押しするとおやすみタイマー時間 “SLEEP **” が画面に表示されます。
2. さらに  を長押し続けるとおやすみタイマーの設定時間（分）が 15 → 30 → 45 → 60 → 90 → 120 の順番で繰り返し表示されます。
希望するおやすみ時間が表示されたら  を離します。
おやすみタイマーマーク  が表示され、最後に設定した放送局が流れます。
3. おやすみタイマーの設定時間になると自動的に電源が切れます。
4. 解除するときは  を押します。おやすみタイマーマーク  が消え、本製品の電源が切れます。

ラウドネス機能

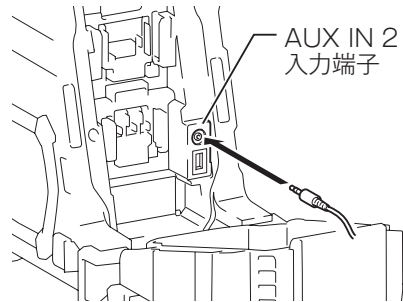
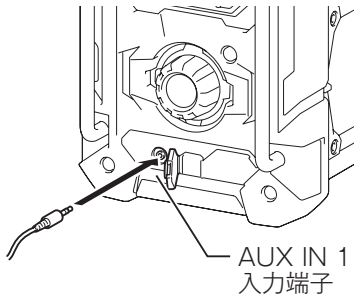
ラウドネス機能を働かせることにより、低音域から高音域まで音が聞きやすくなります。

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、画面に “LOUDNESS” を表示させてから、 を押します。
3.  を回し、“LOUDNESS ON” または “LOUDNESS OFF” を選択してから、 を押します。
4. “LOUDNESS ON” にするとラウドネス機能が働きます。

外部入力について

外部入力端子への接続

- ・ 本製品には前面に AUX IN 1、バッテリーカバーの中に AUX IN 2 の 2 つの外部入力端子があります。



1. 外部機器（例：スマートフォン、MP3 プレイヤーなど）のオーディオコードを外部入力端子に接続します。
2. AUX IN *が表示されるまでソースボタン  を繰り返し押します。
3. 外部機器で音量調整をします。必要に応じ本製品の音量・選局ダイヤル  でも音量調整をします。

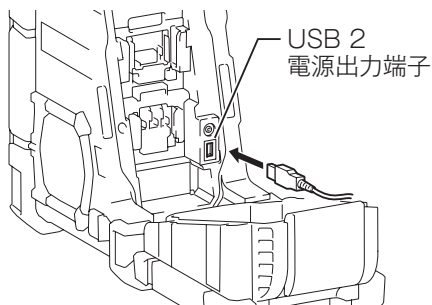
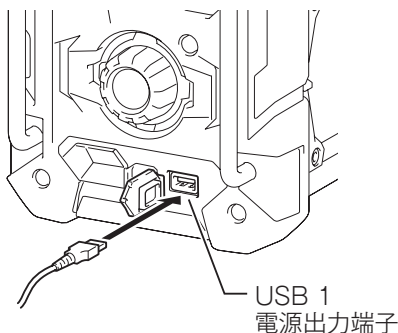
注

- ・ 外部機器を接続する際は、必ず電源を切ってください。
- ・ 外部機器を接続していない場合、AUX IN *は画面に表示されません。

外部入力について

携帯機器の充電

- ・ 本製品には前面およびバッテリーカバー内にそれぞれ USB 出力端子があり、携帯機器などを充電することができます。



1. 携帯機器（例：スマートフォン、MP3 プレイヤーなど）を市販の USB ケーブルで接続します。
2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した携帯機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ 携帯機器の種類によっては動作しない、または充電できない機種があります。
- ・ パソコンの USB 端子と接続しないでください。故障の原因になります。
- ・ 充電中はスピーカからの音量レベルが低くなります。
- ・ バッテリーの消耗を防ぐため、充電完了後は USB 出力端子から USB ケーブルをはずしてください。
- ・ 2 つの USB 端子は同時に使用することができます。その場合の出力電流は 2 端子合計で 2.4 A です。

保守・点検について

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

MR300-JP-1911
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）